

小中一貫教育推進Gだより

令和元年 12 月 11 日

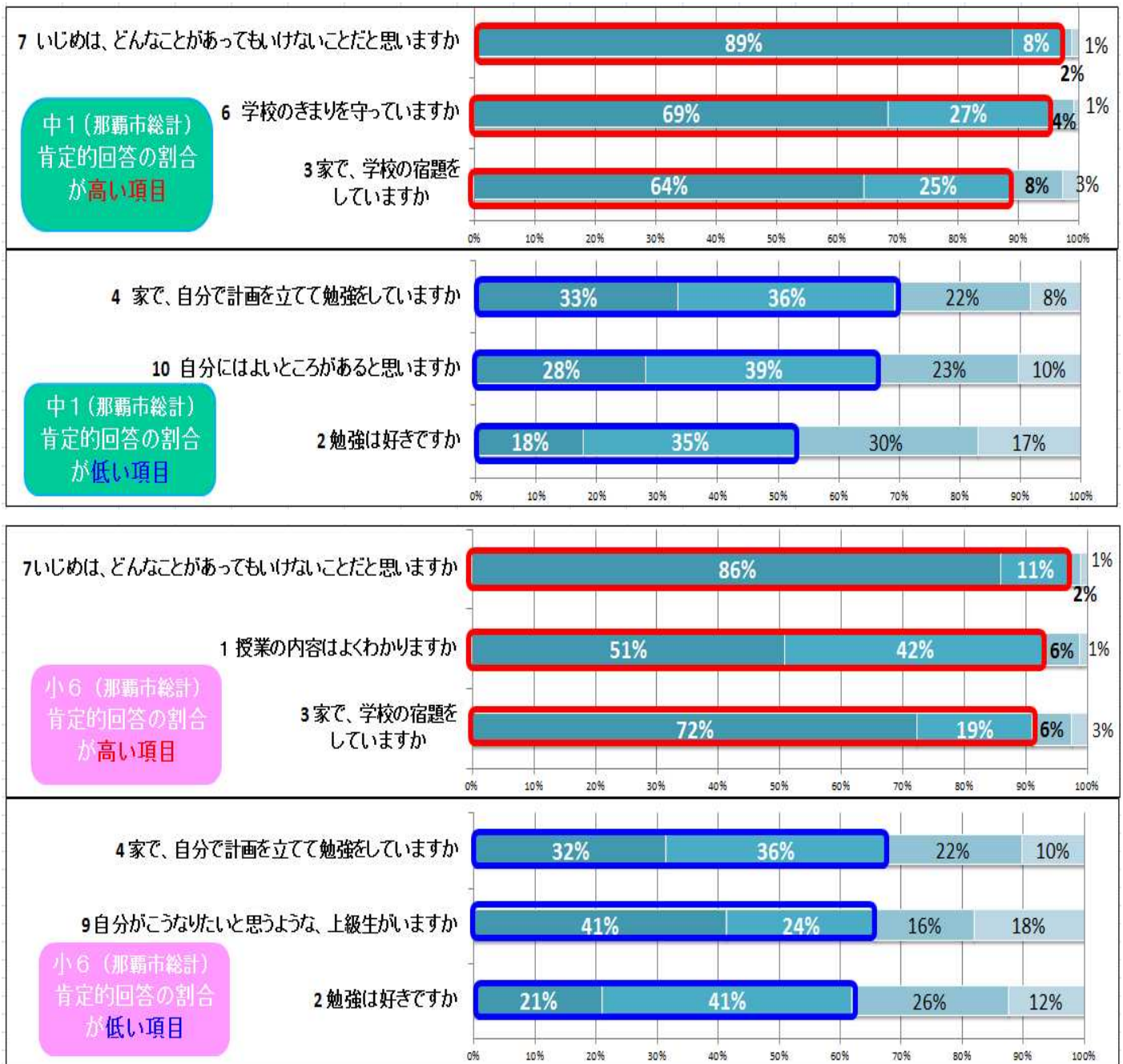
1 小中一貫に関する児童・生徒の アンケート結果と分析

《実施概要》

- 1 目的 本市内の小学6年生及び中学1年生の意識を把握すると共に、経年比較を行い、小中一貫教育の取組の参考に資する。
- 2 対象 本市内全小学6年生（回答数2,975人）、本市内全中学1年生（回答数2,703人）
- 3 調査期間 令和元年6月19日～28日

※ 4 と 3 を「肯定的回答」と捉える

■ 4 あてはまる ■ 3 ややあてはまる ■ 2 ややあてはまらない ■ 1 あてはまらない



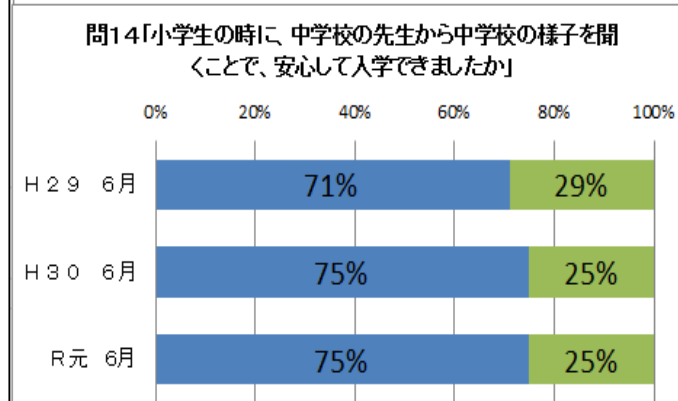
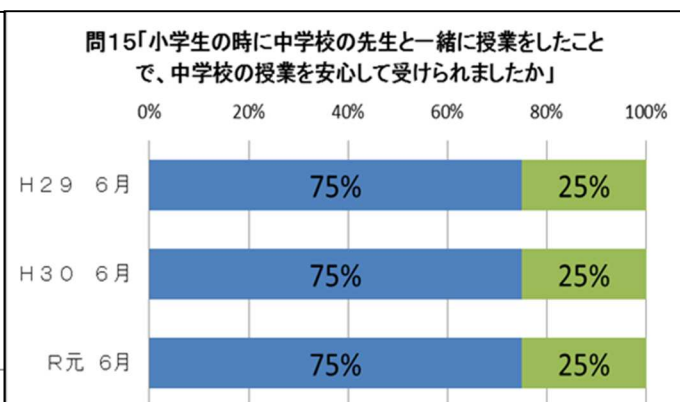
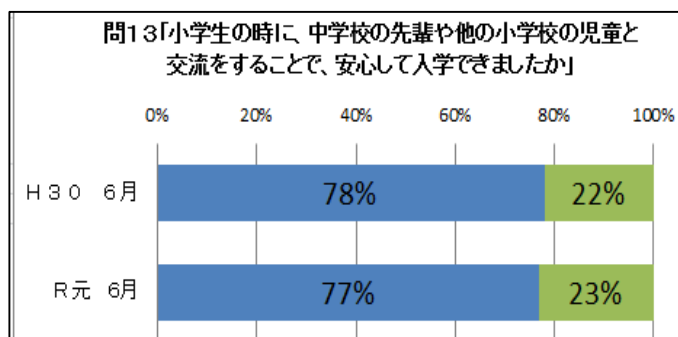
【成果】

- ・学習内容への理解の向上
- ・いじめへの意識の向上
- ・学習習慣の定着
- ・学習規律・生活規律の定着

【課題】

- ・「わかる授業」や「主体的な学び」につながる授業改善
- ・自己肯定感を高める手立て
- ・多様な人間性と関係性を育む異学年等他者との交流

■はい (あてはまる・ややあてはまる) ■いいえ (あてはまらない・ややあてはまらない)



考察：「入学時の安心」に関わる3つの質問すべてにおいて、約75%が肯定的である。人との関わりが進学の安心につながっていると考えられる。この割合は、3年間に渡って変わらない。

効果のある学校（グループ）に共通していること

- 【研究テーマ】 校内研究の効果的な活用、**焦点化**した取組
- 【授業研究会】 研究内容の共通理解
- 【支持的風土】 **生徒指導の3つのポイント**を生かした学級経営
ふくぎじんぶな一プランに基づいた取組
- 【生徒指導】 **ねばり強く継続的な指導**、**全職員**での共通実践
- 【交流・体験】 **多様な人とのかかわり**がもてる取組
- 【小中一貫教育コーディネーター】 児童との**直接的**なかかわり、効果的な**活用**

2 今年度後半の取組内容（小中一貫教育関連）

- ① 第2ステージに設定されている取組や共通実践の確実な実施
- ② 1月～2月実施予定の児童生徒・教員対象の各アンケートにおける分析
 - ※ 今回のアンケートは昨年の1月アンケートと設問が同じですので、比較ができます。小中の交流活動が今後予定されている学校は、交流活動終了後に行ってください。ご協力よろしくお願い致します。